

チャレンジ工房news

第91号 平成30年9月発行

発行先 パソコン工房チャレンジ

編集責任者 曲 圭子

工房の日々

先日の「台風21号」による暴風や大雨で、被害にあられた方々へ心よりをお見舞い申し上げますとともに、一日でも早くもとの生活に戻れますように願っております。

「台風21号」が近畿地方に接近する前日、ニュースやネットなどの報道で「今年の台風の中でも、最強クラスの台風で1934年に京阪神地域に甚大な被害をもたらした室戸台風に匹敵するほどの台風」だと言われていたので、大雨と高潮が原因でもし工房付近の武庫川が氾濫して、工房も床上・床下浸水でもしたらどうしようとスタッフの間で心配していました。

幸いなことに、暴風で駐車場に置いてあるゴミ箱や掲示板上に掲示してある掲示物が飛ばされたぐらいで、目立った被害はあまりありませんでした。

台風が来る前日に通所されていた所員さんには、「明日台風だし、JRとかの公共交通もすべて止ると思うので、朝に警報が出ていなくても無理に通所しないでください」と伝えていました。



ホームページより
武庫川駅付近の様子

今後の予定

10/8(祝) 尼崎市民まつり
10:00~19:00
阪神尼崎駅周辺

11/10(土) ミーツ・ザ福祉
10:00~16:00
橘公園野球場

※同日ともに当工房のオリジナル自主製品とクッキー・かりんとう等の東北作業所の物品を販売します。

尼崎や西宮などの京阪神の所々で鉄道などの交通機関がマヒしたり、電気が停電したり断水したりして、所員さん・スタッフの中には不自由な生活を余儀なくされている人もいますが、所員・スタッフともに、大きな怪我も何一つすることがなく、無事だったことが何よりも救いです。

京阪神地域は、瀬戸内海に囲まれているため、あまり台風などによる被害が少ないため、電気・水道のライフラインやJRなどの交通網が阪神大震災後、何時間も何日間も寸断された経験はなかったので、やっぱり何時間でも電気や水道のライフラインが止まると生活の不自由さを感じ、明かりない生活は何だか心細く感じました。

改めて、台風や地震などの自然災害がない普段の何気ない生活に「ありがたさ」を感じるとともに、日頃より飲料水、非常食、懐中電灯、ラジオ等の備蓄品の備えなどしっかりしていくことが必要だと再認識させられました。

地震・台風時の警報発令時の対応について

今年に入り、「大阪北部地震」・「西日本豪雨」、今回の「台風」、「北海道地震」と今まで前例のないほどの災害続きです。

今後、ますます地球温暖化によって南海トラフ地震などの巨大地震や今回の台風 21 号と同様な脅威をもつスーパー台風が増えるだろうと懸念されています。

当工房は、尼崎市の障害者福祉課管轄の「障害者福祉施設」に位置付けているため、大雨・洪水・波浪・高潮などのいずれかの警報が発令された場合、法令によって所員さんの安全を考えて「臨時休所」にすることが義務付けられています。

当工房では、開所当時より午前 7 時の段階で阪神地域もしくは尼崎市に警報が発令された場合、原則「臨時休所」とさせていただきます。

万が一、警報が 7 時の段階で発令されてない場合でも JR・阪急・阪神の交通網が早くから麻痺していることも十分考えられるので、台風の前兆と感じられる風や雨の降り方を感じたり、少しでも体感に感じられる余震を感じられる場合、無理に通所せず、自宅等で自主研修をするようにお願いします。

午前 7 時に阪神地域または尼崎市に暴風・大雨・洪水・波浪・高潮・風雪等の警報が発令された場合

🚩 原則、1 日臨時休所とさせていただきます。

その場合、登録所員さんには電話やメールにて、スタッフが手分けして連絡させていただきます。

🚩 スタッフも通勤・勤務時の安全性を考慮して 1 日自宅待機にさせていただきます。

研修時に警報が発令された場合

🚩 警報が発令された段階で帰宅準備をしてもらい順次、自宅等に戻っていただきます。

その後、スタッフで戸締まりをして閉所の段取りをします。

🚩 天候の急変などにより、帰宅時に JR・阪急・市バスなどの交通網が寸断される可能性もあるので、無理に通所しないでください。

交通網や電気・水道などのライフラインが寸断された場合

🚩 スタッフ間で尼崎市のライフライン・市バスなどの交通網の実態などを把握し、工房の設備の安全性を確認した上で、開所の判断をします。

開所が難しいと判断された場合

通常の研修をしていくのにあたって、必要な電気・水道・ネット回線などのライフラインが復旧するまでの期間、休所にさせていただきます場合もあります。所員さんには、再開のめどが立てば安否確認も含め、スタッフが連絡させていただきます。

体調面や生活面で困りごとなどがあれば、「緊急障害者センター」などの関連機関につないだりして、サポートしていくことを考えています。

開所が可能と判断された場合

・ 10 時～15 時まで通常の研修を行ないます

・ 地域の方々への奉仕活動として、インターネット回線の提供、携帯電話の充電などの電源を提供、必要な医薬品・飲料水を提供することを考えています。